|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| リーグ | Soccer LightWeight | チーム名 | Munako Artemis |
| メンバー | 石原 廉太郎 / 松田 魁琉 / 目野 優輝 / 熊抱 崚太 | | |
| 所属ブロック | 九州ブロック | 所属 | 北九州ノード |

大会参加の目的（目標）

|  |
| --- |
| ・世界1位を獲る  ・世界中のロボカップ参加者と交流し、様々な経験をする |

大会の様子（会場の様子，試合の様子，チーム間交流の様子など）

|  |
| --- |
| ・ロボカップシニアリーグ(SSL、中型リーグなど)がすぐそばに設置されており、会場的には端の方にL字で設置されていた。(パドックはLW/OPENで別)  ・パドックは人数関係なく1つの机で、コンセントは共用。スペースは比較的狭めでゴチャゴチャしていた印象がある。  ・全体的に緩めで、とにかく「大会に参加して楽しむ」を意識されていたような気がする。  ・基本的にスコア管理の人がスコアをつける(iPad等での管理は無し)以外は基本的に全国大会と同じ。  ・SuperTeamがとても盛り上がっていた。海外チーム間との交流もこの時に盛んに行った。 |

国内大会と違っていたと感じた点（良い点，悪い点）

|  |
| --- |
| <良い点>  ・コミュニケーションモジュール  　→ワンタッチでロボットのStop/Startができるという取り組みはとてもいいと思った。  ・チーム間の交流のしやすさ  　→パドックが基本隣接して隣同士で置いてあるため、チームの間での交流が必然的に  　　発生していた。  <悪い点>  ・審判のルール熟知度  　→ルールをよくわかっていないのか、コート端のライン(≠ゴール前白線)のところで  　　プッシングをとっていたり、過去のルールが適用されたままだったりの試合が  　　いくつか見受けられた。  　　また、ルールとは直接関係ないが、スコア管理が杜撰であった試合もあった。  ・外野からの野次  　→時々相手チームのメンター？からの野次が飛んでいた。 |

大会参加の成果（学んだこと，目標の達成度）

|  |
| --- |
| ・アウトオブバウンズ対策の重要性  　→基本的に「ロボットがずっとコート内にいるチームが強い」ため、白線から出ない  　　という当たり前のことを正確に行えるチームがとても強かった。  　　(特にEdge。ただ他のチームもラインから出ることは少なかった。)  ・プッシング  　→現状白線上にとどまりボールを受け止める(もしくはロボットとの押し合い)  　　ロボットがとても強い(=主にプッシングルールの存在)  　　ある程度の精度のキーパーであると、余程のことがない限りゴールには基本的に  　　入れることができなかった。(中国 UGAMM-SOCCER のキーパーは特に)  　　遠距離から斜めにキッカーで蹴り飛ばすなどの工夫が必要。  ・目標について  　→惜しくも世界大会優勝という目標をかなえることはできなかった。  　　しかし、1か月という短い準備期間の中で、総合3位・Top Poster & Presentation  　　という賞を持ち帰ることができたのはとても大きい。  　　また、海外のチーム(国内然り)からたくさん学べることがありとても面白かった。 |

大会参加を受けて日本のロボカッパーへのメッセージ

|  |
| --- |
| ・日々の努力が大切  　ロボットは一朝一夕でできるものではない。それはハードウェア然りソフトウェア然り。だからこそ、常日頃からロボットと向き合って努力することが大切。  　世界大会で使った知識や経験は、基本的に日々の活動で身に着けた知識の応用がほとんど。実際に世界大会で強かったロボットは毎日調整していたのだなと感じるようなロボットだった。  ・やっぱり世界大会は楽しかった  　全国大会ももちろん楽しいが、世界大会はそれ以上に楽しかった。Super Teamやいろんな国の人との交流をし、ハプニングが起き、とにかくいろんなことが起きてとても楽しかった。全国大会を勝ち抜くことはそう容易ではない(私たちもギリギリ行くことができた)が、その先に待っているのはとても面白い光景だから、ぜひ世界大会に向けて活動を頑張ってほしいと思う。  ・予備の準備  　部品やマイコンの予備の準備はとても大切。だが、それ以上に、問題が発生したときにどう対処するかという準備がとても重要だった。  (準決勝前にモータードライバのマイコンが焼けた。原因特定に時間がかかり、準決勝中にロボットを修理することができなかった。) |

成績（公式に残るものだけでなく予選の結果，交流戦などできるだけ詳しく）

|  |
| --- |
| ・Round 1 vs. Oi\_DENGIKEN（日本）●　５－６  ・Round 2 vs. Andys Geese（カナダ）○　３１－０  ・Round 3 vs. Bodensee-Luchse（ドイツ）○　２７－７  ・Round 4 vs. RBL Stieren（メキシコ）○　１６－８  ・Round 5 vs. UGAMM-SOCCER（マカオ）●　４－１２  ・Round 6 vs. Righteousness（マカオ）△　８－８  ・Round 7 vs. ETC autoPrikratki CRO Team（クロアチア）○　１３－４  ・Round 8 vs. Edge（日本）○　１３－５  ・Semi-Final　 vs. UGAMM-SOCCER（マカオ）●　１－１４  ・3rd place play-off 　vs. Zenith（オーストラリア）○　２５－１　３位 |

会場，試合，対戦相手など記録となる写真（数枚）

|  |
| --- |
| レゴ, おもちゃ が含まれている画像  自動的に生成された説明 |

その他

|  |
| --- |
|  |